

## 執筆者紹介

(担当章順)

**カロリーナ・G・ヘルナンデス** (序文) フィリピン戦略開発問題研究所所長兼理事長。ASEAN 戦略国際問題研究所連合 (ASEAN-ISIS) 議長、フィリピン大学名誉教授 (政治学) も兼任。フィリピンの大統領顧問を務めた経験もある。ニューヨーク州立大学 (米ニューヨーク州バッファロー) で博士号 (政治学) を取得。研究領域は、地域安全保障、対外関係、軍事と政治、民主主義と開発、フィリピンの内政と外交政策等。

**タン・シーセン** (第1章) シンガポールのナンヤン工科大学 S. ラジャラトナム国際研究大学院 (RSIS) 准教授。RSIS の付属機関である防衛戦略研究所 (IDSS) で研究主任を務める傍ら、同研究所の多国間主義・地域主義プログラムでコーディネーターも務める。アリゾナ州立大学博士。研究領域は、批判的社会思想、国際関係論、多国間主義・地域主義、紛争管理、アジア太平洋地域の政治・安全保障。

**ジョセフ・リョー・チンヨン** (第2章) シンガポールのナンヤン工科大学 S. ラジャラトナム国際研究大学院 (RSIS) 副学部長兼准教授。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) で博士号取得。研究領域は、東南アジアにおける国際政治、東南アジアにおけるイスラム教と政治、マレーシアの内政と外交政策、タイ南部のマレー系イスラム教徒コミュニティ等。

**チュラチープ・チンワノ** (第3章) タイのタマサート大学国際部副学長、同大学政治学部准教授。タイ下院外交委員会でも2005～2006年に上級専門官を務める。1980年にスタンフォード大学で博士号取得 (政治学)。研究領域は、タイの外交問題、中国等東南アジアの主要国、アジア太平洋地域における安全保障問題。

ノエル・M・モラーダ（第4章） フィリピン大学ディリマン校教授（政治学）。ジョンズ・ホプキンス大学（米ワシントン DC）の東南アジア研究プログラムに2008年春、特別客員教授として招かれる。フルブライト奨学生としてノーザンイリノイ大学で博士号取得（政治学）。研究領域は、フィリピンの外交問題、ASEANの対外関係、ASEAN地域フォーラム（ARF）、国際テロ、人権問題等で、関連著書もある。

リザール・スクマ（第5章） インドネシア・ジャカルタの戦略国際問題研究センター（CSIS）所長。ムハマディアの中央理事会国際関係部部长。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス（LSE）で博士号取得（国際関係論）。研究領域は、東南アジア安全保障問題、ASEAN、インドネシアの防衛・外交政策、インドネシアにおける政変等。

庄司 智孝（第6章） 防衛研究所（NIDS）研究部第3研究室主任研究官。東京大学で博士号取得（学術）。研究領域は、東南アジアの政治と安全保障、日本の東南アジア政策、ベトナム現代史等。

恒川 潤（編者、序章） 防衛研究所（NIDS）図書館長。1974年日本貿易振興機構（JETRO）に入り、東南アジアの経済発展について調査を行う。1998年防衛研究所に主任研究官として入所。専門は開発経済、東南アジア問題。2004年から2007年まで、同研究所の年次報告『東アジア戦略概観』編集長および執筆者を務めた。



中国の台頭  
東南アジアと日本の対応  
恒川 潤 編

ISBN: 978-4-939034-58-9

発行者 防衛省防衛研究所  
153-8648 東京都目黒区中目黒2-2-1  
Tel: 03-5721-7005 (内線6588)  
Fax: 03-3713-6149  
Email: [planning@nids.go.jp](mailto:planning@nids.go.jp)  
Website: <http://www.nids.go.jp>

本書で表明されている見解は、各執筆者個人のものであり、必ずしも各執筆者の所属機関や政府の見解を代表するものではありません。

Copyright © 2009 The National Institute for Defense Studies

本書の全部または一部について、形態や手段を問わず、複製、情報検索システムによる保管、転送を行う場合には発行者からの書面での許可が必要です。

編集・印刷：株式会社アーバン・コネクションズ

\* \* \*

防衛研究所（NIDS）は政策関連の戦略研究を行うことを任務とした、防衛省の政策研究機関です。NIDS では、幹部自衛官、防衛省職員、政府関係者を対象とした、国防大学レベルの教育も実施しています。NIDS は国内最大規模の戦史研究機関でもあります。